

事務事業評価表（平成28年度）

Header table with columns: 事業コード (652), 課コード (0503), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項, (9) 財源内訳, (10) 人件費等.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市の実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 評価 and a row for 改善策及び展開方向.

事務事業評価表(平成28年度)

Header table with columns: 事業コード (1664), 課コード (0503), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 27, 28, 29, and 30.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成28年度）

事業コード	1961	課コード	0503	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	ホールボディカウンタ測定及び甲状腺検査費用助成事業		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・健康づくり支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	平成28年度 ~ 平成28年度			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.16人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,715千円 (うち人件費 1,424千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携して対応してまいります。			事業目的	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故に起因する放射性物質による健康への影響を心配する市民に対し、医療機関等での検査の受診を促し、もって市民の健康への影響に対する不安及び経済的負担の軽減を図る。					
(3) 事業内容	内容	○ホールボディカウンタ測定費用助成 内部被ばくの状況を把握するため、測定機関においてホールボディカウンタ測定費用に対する助成対象被測定者 妊婦、平成6年4月2日以降に生まれた者。 1人につき3,000円を限度に助成する。(生活保護世帯等の場合は6,000円) ○甲状腺検査費用助成 市内医療機関において甲状腺超音波検査と血液検査を同時に実施後、医師からの説明を実施する。対象者は、平成4年4月2日～平成23年4月1日生まれの者で、事故日及び検査日において市内に住所を有する者とする。ただし、自覚症状のある者や医療に罹っている者は除く。 1人につき5,000円を限度に助成する。			当該年度執行計画	○ホールボディカウンタ測定費用・甲状腺検査費用助成 4月～ 助成金の申請受付。申請受付後、随時助成金の交付決定後、助成を行う。 (医療機関等と代理受領について契約を行う)					
		当該年度活動結果指標	ホールボディカウンタ測定・甲状腺検査 助成者数	単位	人	想定値	61	実績値			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	健康への影響に対する市民の不安の軽減を図ること			間接	ホールボディカウンタ測定・甲状腺検査 助成者数		人	2	61		
3年後				-				0	0		
最終(概ね5年後)				-				0	0		
(7) 事業実施上の課題と対応	健康への影響に対する市民の不安の軽減を図ることが目的のため定量的な指標による算出は困難。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容費用	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度			
		政策内容	金額(千円)	政策内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策内容	金額(千円)	政策内容	金額(千円)	
		*: ホールボディカウンタ測定費用助成金	144	*: ホールボディカウンタ測定費用助成金	36		※前年度の状況を踏まえて実施内容を決定		※前年度の状況を踏まえて実施内容を決定		
		*: 通信運搬費	4	*: 甲状腺検査費用助成	250						
				*: 通信運搬費	5						
	予算(済)額	合計	148	合計	291	合計	0	合計	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		148		291		0		0		
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.16		0.16		0		0		
	正職員人件費		1,456		1,424		0		0		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		1,604		1,715		0		0			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		36.45千円/人		28.11千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う福島第一原子力発電所の事故による各種放射能対策を実施してきたが、子どもの将来に対する保護者の不安は消し去ることはできていない。このため、医療機関等によるホールボディカウンタ測定や甲状腺検査の助成事業を実施し、子どもや保護者の不安の軽減を図る。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input checked="" type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容			実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>なし								<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容			実施した具体的な内容		環境への配慮
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>該当なし								<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	2	61	<input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>	
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他	実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況			
	3.56	単位 費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				